

# 1 薬物を乱用するきっかけ



<心理的要因> → **心のすきまに入り込んでくる**

- ・好奇心
- ・友達から誘われて、仲間意識から断れない
- ・やせられる、眠くならない、元気になるという甘い誘い文句
- ・すぐにやめられるという間違った認識
- ・ストレス発散
- ・悩み事など自身が弱っている

<環境的要因> → **手に入りやすい**

- ・薬物と分からない
- ・街中で誘われるなど、身近な場所での売買
- ・スマートフォンなどの普及によるインターネット（怪しいウェブサイト）の広がり

## 誘われたときの対処法

- ・はっきり、真剣な態度で「私は、いりません。」「見ません。」「絶対、嫌だ!」と断る。
- ・携帯電話が鳴ったふりをして逃げる。
- ・「そこで親と待ち合わせをしているんです。」と言ってその場を離れる。
- ・聞こえないふりでやり過ごす。
- ・危険な場所には近付かない。

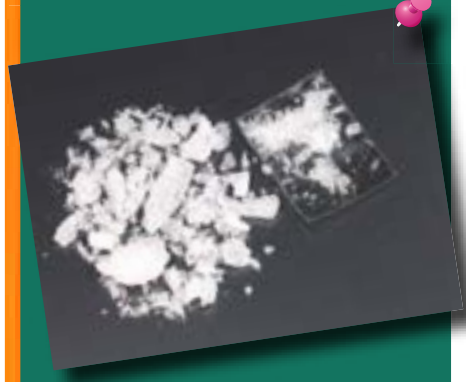
- ・いいものがあるよ。
- ・すごく楽しい気分になるものなんだ。
- ・嫌なことすっきり忘れられるよ。
- ・無理に買わせないから。
- ・みんなやってるよ。



たった一度でも、あなたの将来を台無しにしてしまう薬物は、**身近に潜んでいます!**  
自分には関係ないと思わずに、自分だったらどう断るか、考えておきましょう。

# 2 乱用されている主な薬物の種類

## 覚醒剤 かくせいざい



【俗 称】 シャブ、エス、スピード、アイス（氷）クリスタルなど

【形 態】 白色や無色透明の結晶

【薬理作用】 一時的に眠気や疲労感がなくなり、気分が高まり、陽気になる。

【中毒症状】 幻覚や妄想等が現れ、時には錯乱状態を起こす。

## 大麻 たいま



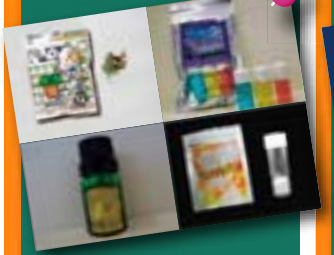
【俗 称】 マリファナ、ガンジャ、カナビス、葉っぱなど

【形 態】 大麻草から作られる。

【薬理作用】 視覚、聴覚、味覚等が過敏になり、感情が不安定になる。

【中毒症状】 パニック状態や精神依存を起こし、生殖器に悪影響を起こす。

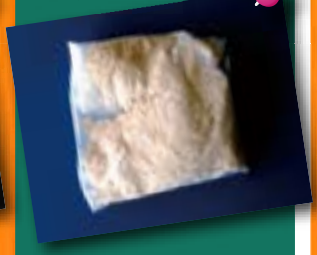
## 危険ドラッグ



【俗 称】 ハーブ アロマ お香など

覚醒剤や麻薬の成分に似た物質が添加されており、覚醒剤や麻薬より危険な場合もある。最悪の場合、死に至ることもある。

## コカイン



【俗 称】 コーク チャーリーなど

コカの葉から作られる無色や白色粉末状の薬物。幻覚や妄想等に襲われ、強い依存性があり、死に至る場合もある。

## MDMA



【俗 称】 エクスタシー バツなど

化学合成によって作られた麻薬で、強い精神依存性があり、錯乱状態となり、高熱や記憶障害を引き起こす。

# 3 薬物乱用のサイクルと身体的・社会的影響



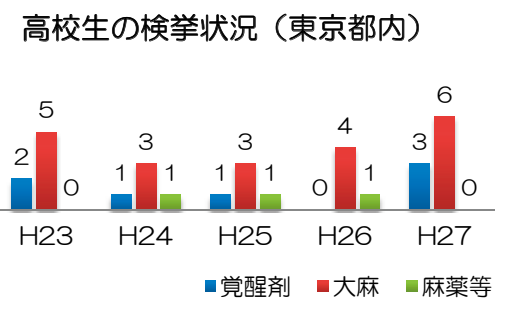
- 身体的影響**
- 幻想・妄想
  - 急性中毒死
  - フラッシュバック\*
  - 情緒不安定 など
- 社会的影響**
- 薬物を買うために借金をする
  - 錯乱等による傷害事件
  - 家庭崩壊
  - 学習意欲の低下 など

\*フラッシュバックとは  
薬物の乱用をやめ、普通の生活に戻ったように見えても、何かの刺激によって、突然幻覚・妄想などの症状が再び現れること。

# 4 薬物乱用の実態

**他人事ではない!!**

薬物乱用は、私たちにとって身近な問題です。右の表を見て分かるように同世代である高校生が毎年検挙されています。「自分には関係ない」と思わずに、違法な薬物を寄せ付けない強い意志をもつとともに友人など周りの人たちへ、薬物に関する正しい知識を伝えていくことが大切です。



<出典：東京都薬物専門講師研修資料（平成29年3月）>